第５２回愛媛県スポーツ少年大会軟式野球競技
（第４１回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会愛媛県予選会）の競技規則及び方法

１．大会特別競技規則

（１）試合時間は８０分以内とし、その時間を過ぎて新しいイニングに入らないものとするが、決勝戦は時間制限を設けない。

（２）試合はトーナメント方式７回戦とする。

（３）制限時間内に規定のイニングを終了し同点の場合は、８回を限度に次の「タイブレーク」とする。

「タイブレーク」

継続打順とし、前回の最終打者を １塁走者として、２塁の走者は順次、前の打者とする。

すなわち無死一、二塁の状態にして１イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、最終メンバー９名による抽選にて決する。

決勝戦は７回終了して同点の場合は、８回を「タイブレーク」として行い、勝敗が決しない場合は、最終メンバー９名の抽選にて決する。

（４）投手の投球制限については、肘、肩の障害防止を考慮し１日７イニングまでとする。

但し、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、１日最大９イニングまで投げることができる。

尚、投球イニングの取り扱いは、登板した時点を１イニングとする。

（５）抽選方法は、全日本軟式野球連盟「学童野球に関する事項」による。

（６）降雨、日没等により試合継続が困難となった場合、５回終了以降は正式試合とする。

（７）５回以降７点差のコールドゲームを適用するが、１・２回戦は３回以降１０点差のコールドゲームを適用する。

（８）投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティ（ボール）を課す。

（９）疑義は代表指導者（監督）、主将または当事者が行う。

（10）本規則に定められていない事項が生じた場合、審判員協議のうえ大会審判長の権限により処理する。

２．危険防止のため次の用具を使用する。

（１）打者用ヘルメットは両側にイヤーラップのついた物を７個用意し、打者、次打者、走者及び、ベースコーチは全員着用すること。

（２）捕手は捕手用ヘルメット、プロテクター、レッグガード、スロートガード、ファウルカップを着用すること。

（３）上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認（ＪＳＢＢマーク入り）であること。

（４）素振り用の鉄パイプ、バットリングは場内への持込を禁止する。

（５）金属スパイクの使用を禁止する。

３．競技運営に関し、次のことを規定する。

（１）競技者の背番号は、算用数字で０番から９９番までとし、主将は１０番に統一する。

なお、必ず団員章を右そで又は胸に着用すること。

（２）試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人員は次のとおり。

・参加申込書に記載された代表指導者（監督）、引率指導者、選手とする。

但し、このほかコーチ２名（登録指導者で参加申込書に記入された者）及び、マネージャー、スコアラーとし、試合中の交代は認めない。

（３）代表指導者（監督）の背番号は３０番に統一する。なお、コーチの背番号は２９番と２８番とする。

（４）ユニフォームは、代表指導者（監督）、コーチ、選手同一とする。

（５）ダッグアウトで携帯用マイクを使用することは禁止する。但し、代表指導者（監督）に限りメガホンを使用することができる。

（６）ダッグアウトは組み合わせの若番を１塁側とする。

（７）試合前のシートノックは行わない。

（８）メンバー表は自６部（必ずふりがなを付けること）を提出することとし、第１試合のチームは開会式前に、第２試合以降は前の試合の４回終了時に大会本部へ提出する。

（９）前の試合が早く終了した場合、試合開始予定時刻前でも次の試合を開始する。

（10）試合開始時刻になっても会場へ到着していないチームは、原則として棄権と見なす。

（11）試合中、代表指導者（監督）はグラウンドへ入り指示を与えることができる。

（12）攻守交代は駆け足で行うこと。

（13）試合中のボールキーパーはそれぞれのチームの選手が行うものとする。（各チーム２名）

（14）小雨の場合でも日程の都合上、試合を行うことがある。

（15）雨天の際の連絡について

・試合不可能の場合は、大会本部からチームへ連絡する。

（16）チーム並びに応援団は、連盟の競技者規定に抵触しないよう注意すること。

特に、投手がモーションに入れば、応援は止めなければならない。

また、好ましくない応援や野次に対しては、審判員が注意する。

大会運営に関する規定

１．代表者会議について

（１）代表者会議には、チームの代表指導者（監督）及び、主将が出席すること。

（２）この会議に出席しないチームは、原則として棄権と見なす。

（３）この会議で説明または決められた事項は、チーム及び、応援関係者に必ず徹底させること。

（４）この会議では次のことを行う。

ア．参加申込書提出後は、原則として選手の追加並びに変更は認めない。
また、参加申込書に記載してある背番号の変更も認めない。

イ．代表指導者（監督）及び引率指導者の交代の確認

ウ．大会特別競技規則等の説明

エ．その他大会運営にかかる必要事項

２．開・閉会式について

（１）開会式には全員必ず出席すること。開会式に参加しないチームは原則として棄権と見なす。

（２）開・閉会式における参加指導者・団員の服装は競技時のユニフォームとする。

（３）開会式における入場行進は、プラカード・組合せ若番順に団旗（旗手主将）を先頭に、選手は身長の高い順に行進する。
団旗はバンドを使用せず、右手は右肩の位置、左手は左腰の位置で保持し入場行進を行う。

（４）参加申込書に記載した選手以外で、ユニフォームを着用した団員は開会式への参加を認める。
但し、試合中のダッグアウト（ベンチ）入りは認めない。

（５）開会式における日本スポーツ少年団団員綱領宣言は、参加チームの代表５チームの主将により行う。

（６）参加申込書に記載した選手以外の団員は、試合中、ダッグアウト入りを認めない。但し、本大会は交流も兼ねているため、代表者会議の了解が得られた場合は特別に認めることがある。
※団旗は、各チーム必ず持参してください。